ラジオ大阪
ガイドブック

ラジオ大阪OBC
FM91.9 AM1314
PC・スマホは radiko.jp

声のチカラが見直されている今、
いろんな推しが世の中を動かす今、
ラジオ大阪はしゃべくりとサブカルを充実させた番組で様々な人にとって魅力的でカラフルなラジオ局を目指します。
あなたはどの色？
ラジオ大阪で見つけてください！

しゃべくりx サブカル=カラフル!! ラジオ大阪

SDGメディア・コンパクト署名

ラジオ大阪は、2021年3月11日、
「SDG メディア・コンパクト」
加盟の合意文書に署名しました。

SDGsの情報発信
『あれも!これも!SDGs』放送
毎週水曜21:15～

<2022年放送事例>

9月：お好み焼きでSDGs
（オタフクソース株式会社）

11月：最先端技術でSDGs
（日本たばこ産業株式会社）

12月：大阪市24区のSDGs
（大阪市東住吉区）

1月：地球も人間もきれいに
（株式会社アルボース）

ラジオ大阪の聴き方

AM1314kHz …AMが受信できるラジオでお聴きください。
FM91.9MHz …よりクリアな音声で放送をお届けします。（内容はAMと同じです）
「ワイドFM対応」のラジオで、91.9MHzに合わせてお聴きください。
radiko …パソコン・スマートフォンでもradiko.jpでいつでもどこでもラジオ大阪の放送が聴けます。

radiko

今放送中の番組（ライブ）はもちろんタイムフリーなら過去1週間の番組が、いつでもあとから聴ける！

タイムフリーを選んでお好きな番組を選択

ひとつの番組につき再生開始から24時間以内であれば、合計3時間までいつでも聴取する事ができます。
再生、停止、前戻り、早送りなど自由にできます。

radikoアプリダウンロードはこちら

App store　Google Play

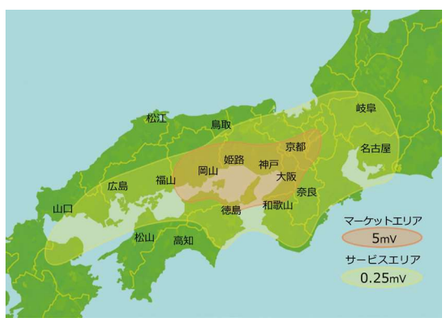
ミクチャ

動画アプリ「ミクチャ」で視聴できる番組が増えています！
「ミクチャ」インストール後、アカウントを作成

ミクチャでもぜひお楽しみください！

ミクチャアプリ
ダウンロードはこちら

App store　Google Play



OBCマーケットエリア

地図上の**マーケットエリア**はAM放送において、もっとも良質な電波が一日中確実に届く範囲、**サービスエリア**は、法定上の電界強度を満たすエリアです。

エリア内人口 2,080万人 ＋ radiko利用者数 244万人/月

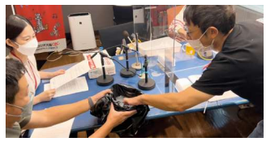
※エリア内人口／日本人口×radiko利用者数
850万人＋プレミア会員登録者数より算出

主なサービスエリア
大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、和歌山県、滋賀県、徳島県、香川県、岡山県、広島県

防災の取り組み
防災ラジオステーション

防災ラジオステーション宣言！

「防災ラジオステーション」として年4回の「防災特別企画『明日のために、今できること。』」の放送をはじめ、防災・減災に関する情報発信や呼びかけを行っています。



安全に歩くことができる街づくりのために
ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

1976年に開始した「通りゃんせ基金」への募金を呼びかけるキャンペーン「目の不自由な方へ音の出る信号機を！『ラジオ・チャリティ・ミュージックソン』」の活動により、近畿4府県に298基の音の出る信号機を設置しました（2022年12月現在）。

健康のための情報発信
糖尿病の予防・療養啓発ワンデースペシャル

糖尿病の予防や治療、療養を喚起する啓発運動の推進を呼びかける日として、世界保健機関（WHO）が制定した「世界糖尿病デー」に合わせ、毎年「『世界糖尿病デー』1Dayスペシャル」を放送しています。各分野の専門家をスタジオに招き、医療、食事、運動などの観点から、最新情報を発信します。

自然を守るために
海ごみ拾い

日本財団が推進する、海洋ごみの削減モデルを作り国内外に発信する「CHANGE FOR THE BLUE 大阪」プロジェクトに参加し、リスナーや企業・団体の皆さまの協力を得てごみ拾いイベントなど、様々な取り組みを行っています。

防災の取り組み

ラジオ大阪は、阪神・淡路大震災をはじめとする、数々の災害の記憶を風化させることなく、明日来るかもしれない災害に備えるため、防災・減災を呼び掛け、リスナーの皆さんと共に取り組みます。

防災特別企画「明日のために、今できること。」

年4回、複数のワイド番組が共通のテーマで防災情報を届ける特別企画を放送しています。防災を身近に捉えることができるよう、いつもの番組で、いつものパーソナリティーが備えを呼びかけます。

これまでの特集

2023年
1月17日　つながる、伝える（阪神淡路大震災1.17のつどい、家具固定、語り部インタビュー ほか）

2022年
9月 1日　"水都"の水害の備え（水門が担う水防、ぼうさいこくたい2022、避難所トイレ問題 ほか）
6月17日　大阪北部地震から4年（備えと自助、吸水シート、パーソナリティーの被災体験、防災川柳 ほか）
3月11日　レジャーと備え（レジャーでの備えと被災時の対応、レジャー施設の被災体験ととりくみ ほか）
1月17日　阪神・淡路大震災から27年（帰宅困難、街の防災施設・防災を学べる施設、心のケア ほか）

2021年
9月 1日　気象災害への備え（気象予報士による気象災害の解説、在住外国人の防災対策と問題点 ほか）
6月18日　職場での備え（防災食、帰宅困難とハザードマップ、貝塚市の取り組み、蓄電システム ほか）
3月11日　東日本大震災から10年（災害とメディア、津波からの避難、釜石市の旅館女将の被災体験 ほか）
1月15日　防災ラジオステーション宣言（ラジオ大阪 防災ラジオステーション宣言、防災グッズ ほか）

2020年
9月 1日　防災の日（ペットの防災、コロナ禍の備え、ハザードマップの活用 ほか）

2019年
8月30日　防災の日（地震への備え、緊急時の水の確保 ほか）
6月18日　大阪北部地震から1年（被災体験と備え ほか）
3月11日　高校生との防災
1月17日　震災の経験を生かす（大人と子どもの防災教室、大学生の取り組み ほか）

2018年
8月31日　防災の日（女性・母親目線から備えを考える、ママ防災座談会 ほか）

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター研究員が毎回出演

スタジオで段ボールベッド体験

楽しみながら防災を学ぶイベント

アナウンサーによる防災ウォーク

防災目線で街を歩く「防災ウォーク」は、電車や車などが使えない状況を想定して自身の足で歩きながら、災害発生時に危険な場所や頼れる場所をチェックします。また、災害の歴史を伝える遺構を訪ね、その土地が持つ災害リスクに目を向けます。

2023年1月からは、**「日本防災士会大阪府支部大阪市ブロック」**の協力を得て、各地で活動する防災士から情報や解説を頂きます

これまでの防災ウォーク

2023年1月17日　鶴橋駅～河内小阪駅（7km）
（密集住宅市街地重点対策地区、八王子神社ほか）
2022年9月 1日　難波～住之江区役所（10km）
（安政大津波の碑、木津川水門、水防碑ほか）
2022年6月17日　京橋駅～千林商店街（4km）
（千林商店街大型消火器、朝日地蔵尊）
2022年1月17日　梅田～JR甲子園口（14km）
（神崎大橋左岸防潮鉄扉、淀川大橋、たすかんねんほか）
2021年6月18日　ラジオ大阪～大阪城公園（7km）
（広域避難所案内板、浸水どうぶつものさしほか）

上方漫才大賞

第57回 上方漫才大賞

横山やすし・西川きよし、ダウンタウンなど数多くの芸人を輩出してきた「上方漫才大賞」。
開催からすでに半世紀を越え、上方演芸界では最も古い歴史をもつ賞となります。
当日の発表会では名誉ある大賞受賞者を発表。50回から新人賞に加え、
奨励賞も事前にノミネートされたコンビ・トリオが当日漫才を披露します。
一般インターネット投票も行い、その場で審査・発表を行います。

日時：2022年4月9日（土）15時～17時30分
場所：COOL JAPAN PARK OSAKA WWホール　**主催：**ラジオ大阪、関西テレビ放送
司会：大平サブロー・関純子（関西テレビ放送アナウンサー）・藤川貴央（ラジオ大阪アナウンサー）
受賞者：上方漫才大賞／ミルクボーイ　奨励賞／ミキ　新人賞／ニッポンの社長
※ラジオ大阪と関西テレビ放送で同時生放送

司会の3人
（左から関純子・大平サブロー・藤川貴央）

歴代受賞者など詳しくは公式HPへ　上方漫才大賞　検索

受賞年度	上方漫才大賞受賞者
第1回 1966年	かしまし娘
第2回 1967年	海原お浜・小浜
第3回 1968年	中田ダイマル・ラケット
第4回 1969年	夢路いとし・喜味こいし
第5回 1970年	横山やすし・西川きよし
第6回 1971年	島田洋之介・今喜多代
第7回 1972年	宮川左近ショウ
第8回 1973年	レツゴー三匹
第9回 1974年	三人奴
第10回 1975年	Wヤング
第11回 1976年	チャンバラトリオ
第12回 1977年	横山やすし・西川きよし
第13回 1978年	Wヤング
第14回 1979年	コメディーNo.1
第15回 1980年	横山やすし・西川きよし
第16回 1981年	ザ・ぼんち
第17回 1982年	オール阪神・巨人
第18回 1983年	オール阪神・巨人
第19回 1984年	今いくよ・くるよ
第20回 1985年	オール阪神・巨人
第21回 1986年	太平サブロー・シロー
第22回 1987年	宮川大助・花子
第23回 1988年	若井小づえ・みどり
第24回 1989年	ダウンタウン
第25回 1990年	宮川大助・花子
第26回 1991年	中田カウス・ボタン
第27回 1992年	トミーズ
第28回 1993年	トミーズ
第29回 1994年	横山たかし・ひろし
第30回 1995年	ハイヒール
第31回 1996年	大木こだま・ひびき
第32回 1997年	酒井くにお・とおる
第33回 1998年	里見まさと・亀山房代
第34回 1999年	おかけんた・ゆうた
第35回 2000年	ちゃらんぽらん
第36回 2001年	中田カウス・ボタン
第37回 2002年	ますだおかだ
第38回 2003年	横山ホットブラザーズ
第39回 2004年	フットボールアワー
第40回 2005年	中田カウス・ボタン
第41回 2006年	大木こだま・ひびき
第42回 2007年	メッセンジャー
第43回 2008年	ティーアップ
第44回 2009年	矢野・兵動
第45回 2010年	中川家
第46回 2011年	ブラックマヨネーズ
第47回 2012年	海原やすよともこ
第48回 2013年	千　鳥
第49回 2014年	笑い飯
第50回 2015年	テンダラー
第51回 2016年	オール阪神・巨人
第52回 2017年	海原やすよ・ともこ
第53回 2018年	ダイアン
第54回 2019年	中川家
第55回 2020年	シャンプーハット
第56回 2021年	かまいたち
第57回 2022年	ミルクボーイ

ラジオ大阪開局64周年特別番組「CHANCE FOR CHANGE 大阪・関西」

実施時期：2022年7月18日（月・祝）11時～16時55分

ラジオ大阪は昭和33年7月1日に大阪市北区梅田で放送を開始しました。それを記念しまして毎年7月に特別番組をお送りしています。
2022年は成人年齢引下げなど法律改正により社会のしくみが大きく変わる年、そして放送日の7月18日は2025年「大阪・関西万博」開催まで1000日前という事でここをチャンスと考え、変化したこと、これから変わろうとしていることを、人、モノ問わず、様々な観点から取り上げました。

第57回（2022）上方漫才大賞を受賞したミルクボーイがスタジオに登場！

歌手 田中あいみさんとちゃらんぽらん冨好さんが「ロンリーチャップリン」をデュエット！この半年後、田中あいみさんは第64回日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞されました。

スポーツ・芸能の最新情報をサンケイスポーツの大澤謙一郎文化報道部長に解説していただきました。

関西大学名誉教授の宮本勝浩先生からは大阪・関西万博における経済効果のお話をしていただきました。

中継の様子

観光客にレンタル着物という文化を広めた「レンタルきもの岡本・祇園店」（左）と、放送日が大阪関西万博まで1000日前ということで千日前の「千日地蔵尊通り」（右）から和田麻実子アナウンサーの生中継

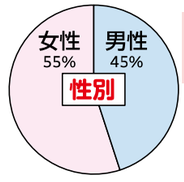
2024年春に新しい水族館として生まれ変わる須磨海浜水族園から藤川貴央アナウンサーの生中継

OBCラジオまつり ふれあい広場2022

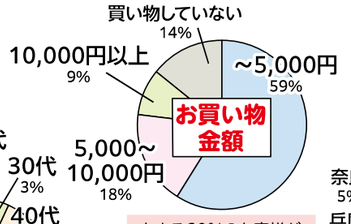
実施時期：2022年11月23日（水・祝）9時～15時　　実施場所：大阪城公園 太陽の広場

ふれあい広場は毎年11月23日(祝)に開催しているラジオ大阪最大のリスナー感謝祭です。
パーソナリティーが集合し、公開生放送やゲストのミニライブも行います。その他、開場数時間前から長蛇の列ができるお買い物ブースなど内容盛りだくさんのイベントです。
新型コロナウイルス感染拡大の為に中止となっていましたが、3年ぶりに大阪城公園 太陽の広場で開催され、およそ2万3000人のOBCリスナーが集まりました。（※新型コロナウイルス感染症対策を行い実施しました。）

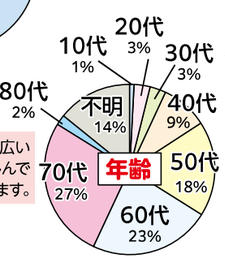
ふれあい広場は、来場者の98%が満足する満足度の高いイベントです！



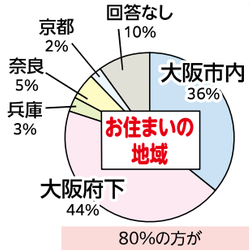
男性と女性、ほぼ半分ずつの割合です。



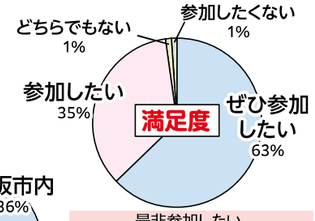
およそ60%のお客様が5000円までのお買い物をしています。



40代～70代の幅広い世代のお客様に楽しんでいただいています。



80%の方が大阪府内のお客様です。



是非参加したい、参加したいを合わせるとなんと98%の方が満足しています！

来場者432名にアンケート

- ●歌謡曲がよく流れるので楽しい。原田年晴さんの司会は最高。（70代男性）
- ●毎年大変たのしみにしています（60代男性）
- ●落語が好きなので、「hanashikaの時間。」が楽しくていいと思います。（60代女性）
- ●ラジオまつりは毎年来ており、色々なブースやステージを見るのが大好きで楽しいです。（40代女性）
- ●パーソナリティーがあったかい（70代女性）
- ●毎年たのしみにしてます。まるでフェスみたい～！（40代女性）

ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

第47回 2022 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

目の不自由な方へ“音の出る信号機”を!

ラジオ大阪は毎年、12月24日～25日にかけて目の不自由な方とのふれあいをテーマに、24時間生放送の特別チャリティ番組を放送しています。このキャンペーンは昭和51年にスタートし、昨年で47回を迎えました。全国11局がこのキャンペーンに参加し、24時間の生放送で呼びかけ、集まった募金は目の不自由な方々のための福祉基金“通りゃんせ基金”に役立てています。

目的: 音の出る信号機の設置や視覚障害者用教育機材の充実など、目の不自由な方への福祉基金として役立たせていただきます。
放送: 2022年12月24日(土)10時～25日(日)10時
24時間の特別番組を放送
募金期間: 2022年11月1日(火)～2023年1月31日(火)
募金総額: 86,413,880円

12/24 10:00

オープニング
(原田年晴、和田麻実子)

10:30

ブラインドマラソン伴走者
眺野詩さん(ゲスト)

11:00

千林商店街から中継

12:00

ミズノケーンST(白杖)を紹介

13:00

盲目の声楽家・濱田直哉さん
スタジオで生歌を披露。

17:00

粉浜商店街から中継
(リポーターは笑福亭鶴二さん)

19:00

山下純一の
今夜もバリアフリー
FUNKミュージックソン
スペシャル

2020年にはアルミカンの2人と日本民間放送連盟賞「準グランプリ」を受賞。

12/25 9:00

フィナーレ
(原田年晴、和田麻実子、商店街の皆様)

11:00

「控室からもっとミュージックソン」をミクチャで生配信。

今回は「ラジオでつながる!防災川柳カレンダー」というテーマでチャリティーカレンダーを作成。(リスナーからお寄せいただいた防災川柳から、24作品を掲載しています。)売り上げから経費を除く全額がミュージックソンの募金となります。

ラジオ大阪の出演者の私物にサインをつけて、チャリティーオークションを実施。経費を除く全額がミュージックソンの募金に。

寄贈した音の出る信号機は298基!

前年度の募金を基に大阪府警察本部に2基寄贈。
これまで寄贈した音の出る信号機は近畿4府県で298基になりました。

《今回新設された音の出る信号機》
末広公園前交差点
(大阪府吹田市)
船橋町交差点
(大阪府藤井寺市)

吹田市の末広公園前交差点での取材の様子

イベント

hanashikaの時間。木曜日 in DAIHATSU心斎橋角座

実施時期:2022年8月11日(木・祝) 17時30分～

人気ワイド番組を公開生放送でお送りしました。
ゲストに森脇健児さんを迎え、松竹芸人のホームグラウンド「DAIHATSU心斎橋角座」はリスナーで満員御礼となりました。

ハッピー・プラスpresents オトナ女子トークセッション

実施時期:2019年7月11日(木) 13時30分～

くつろぎと癒しのホテル、シティプラザ大阪に「ハッピー・プラス」の3人の女性パーソナリティーが集結して、仲良しトーク。ワイワイ盛り上がりました。

V-Station イベント

声優コンテンツによるイベントは、ファンの熱量の高さが特徴!

森久保祥太郎×浪川大輔 つまみは塩だけ つまみは塩だけの宴in大阪2023

実施時期:2023年1月28日(土) 13時～／16時30分～

岩田光央・鈴村健一 スウィートイグニッション おしゃべりイグニッションin東京 2023如月

実施時期:2023年2月4日(土) 13時～／17時30分～

つまみは塩だけの宴in大阪2023

おしゃべりイグニッションin東京 2023如月

大起水産プレゼンツ 大阪歴史ウォーク～外交の舞台となった大阪を歩く～

実施時期:2019年9月14日(土) 9時30分～

1400人のリスナーが集まった、秋のウォーク。
ゴールの大阪城天守閣前広場では、パーソナリティーによるイベントを実施し、さらに盛り上がりました。

黒伊佐錦の会

実施時期:2020年2月15日(土) 12時30分～14時30分

毎回好評をいただき、10回目の開催となったすっかりお馴染みのイベントです。シティプラザ大阪の料理長が腕によりをかけた松花堂弁当と共に、大口酒造の黒伊佐錦を堪能しました。

ラジオ大阪開局61周年記念特別企画 ラジオ大阪 ハッピーフェスティバル2019

実施時期:2019年7月15日(月・祝) 10時～17時

大阪ベイタワー2Fアトリウムから公開生放送をお送りしました。ゲストによる歌謡曲ミニライブや漫才、お買い物ブースも展開し、約2,800人にご来場頂きました。

ラジオの使い方 1

ラジオ大阪では、クライアントの要望に応じてCM制作を行います。

ラジオ大阪では、既存の番組CM・スポットCM放送だけでなく、本社収録スタジオを使い、ラジオCMの制作を行っています。
クライアントからの要望にも、様々な声のアナウンサー・タレントを用意し幅広く対応しています。

広告出稿までの流れ

広告主 ▶ 広告会社 ▶ ラジオ大阪 営業部 ▶ 考査デスク ▶ 編成部(CM制作) ▶ 送出スタジオ ON AIR♪

ストップウォッチで秒数を確認し、読むスピードや強弱などをチェック。

スタジオに入りディレクターの合図で収録を行います。

内容に応じて様々な声で演出します。

収録後、BGMや効果音の編集・確認を行います。

ラジオの使い方 2

人気パーソナリティが生放送で商品・サービスをPR!

原田年晴かぶりつきマンデー! フライデー!

月・金 11時～14時

かぶりつきすごろくin北海道

原田アナウンサーが北海道へ取材に行き、「旅の手作りすごろく」を作成!サイコロで出た目の場所をご紹介しました。
(北海道観光振興機構提供)

OBCグッドアフタヌーン#ラジぐぅ

水・木 11時～14時

鳥取スイカの夏だより

「鳥取スイカ」の生産者の方と電話をつなぎ、スイカの魅力を語って頂いたり、スイカを使ったオススメのレシピなどをご紹介しました。 (JA全農とっとり提供)

1dayスペシャル

「健康って胃～な」2022年3月21日(春分の日)

春は気温高低差に伴う体温調節や、新しい環境での心の疲労など、不調になることもあると思います。そんな不調に備えられるよう、1day企画として、各ワイド番組で太田胃散の胃腸薬をご紹介しました。(太田胃散提供)

放送+番組SNSでご紹介!

ワイド番組スペシャル

原田年晴かぶりつきマンデー! 熊本イチゴにかぶりつき!ゆうべにスペシャル

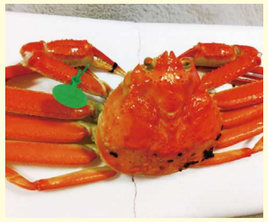
JA熊本経済連さんから九州・熊本うまれのイチゴ「ゆうべに」をはじめとする熊本のお野菜や果物の魅力をたっぷり伺いました。

番組の後半では景品をかけた食リポ対決!ゆうべに・苺大福を食べて40秒で、それぞれ個性あふれる食リポをしてくれました。
(JA熊本経済連提供)

スペシャル企画

京都府スペシャル

京都府文化観光大使であり「カリスマ添乗員」と呼ばれる平田進也さんと、国内旅行業務取扱管理者の資格を持つ原田年晴アナウンサーが京都で取材した内容を2022年12月3日(土)「原田・平田の聴いて良かった深掘り京都」、「平田進也の耳からトラベル京都府スペシャル」、「原田旅行公社です京都府スペシャル」、そして12月5日(月)「原田年晴かぶりつきマンデー!」の4番組でご紹介しました。 (京都府提供)



番組提供

原田年晴かぶりつきフライデー!

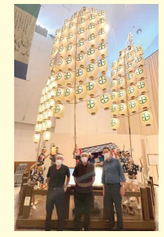
金曜日 11時～14時

チョーヤ梅酒の新作梅酒やお菓子等をご紹介。毎週、番組にメッセージをいただいた方の中から抽選で梅酒をプレゼントします。
(チョーヤ梅酒提供)

原田旅行公社です

土曜日 17時～17時30分 ※不定期放送

国内旅行業務取扱管理者の資格を所有する原田年晴アナウンサーが、まるでリスナーと一緒に旅をするように全国各地のご当地情報を紹介する旅番組です。秋田県スペシャルでは、秋田県の竿灯まつりや稲庭うどんなど、秋田の魅力をたっぷりご紹介しました。
(北東北三県大阪合同事務所提供)



ワイド番組コーナー

水津浩志のちょっとよってく?

Hit&Hit! 木曜日 16時頃

無類の酒好き・水津浩志が仕事帰りに気軽に飲める、おすすめの店をご紹介します。
(大口酒造提供)

ハッピーブランチプラス

新しいあなたの朝に!
ハッピー・プラス
第2・4週水曜日 10時30分頃

料理研究家・フードコーディネーターのあっちゃん先生こと足立敦子先生による料理に関するお役立ち情報を始めとした、"食"に関する情報をお届けしています。 (築野食品提供)

ラジオ大阪のリスナーイメージ

【京都府スペシャル リスナープレゼント】

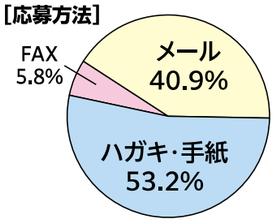
（2022年12月3･5日実施･総額10万円分プレゼント）

5人に1人の方が、パーソナリティーの名前を書いて応募されています。お目当てがプレゼントでも、しっかり聴かれています。

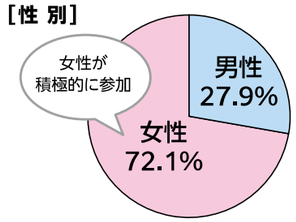
応募者の声

「テレビよりラジオで旅の風景を想像しながら聞くのが面白いです」「楽しい旅の話につい耳をかたむけて次はそこへ行きたいと思い聴いています」「毎回行きたい所が増えるばかりです」

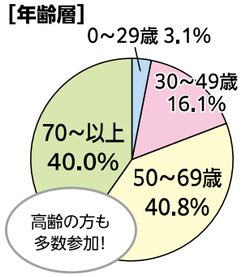
［応募方法］



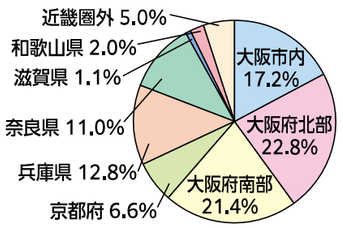
［性 別］



［年齢層］



［住んでいる地域］

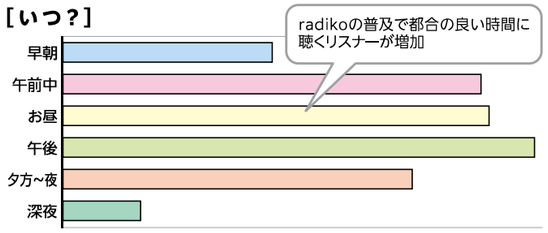


【開局スペシャルwebアンケート】

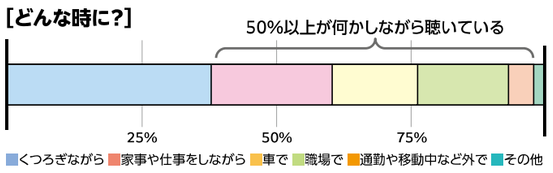
（2022 年 7 月 18 日実施）

ラジオ大阪はどう聴かれている?

［いつ?］

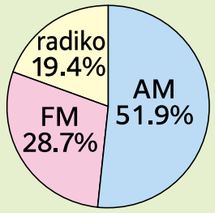


［どんな時に?］

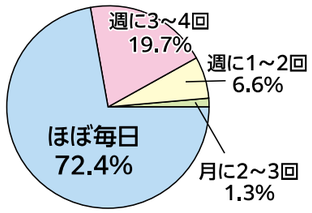


【2022年9月 電話アンケート】

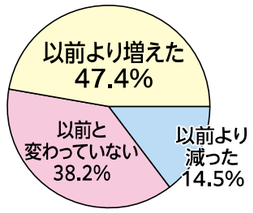
ラジオ大阪、なにで聴いていますか?



［どのくらいの頻度で?］



［最近の聴く頻度は...?］

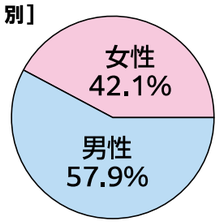


★ラジオ大阪をよく聴くのはどうして?

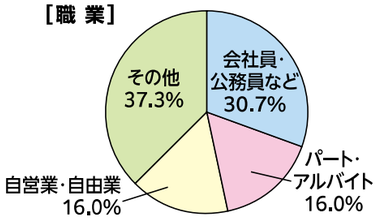
「radikoが出来て時間問わず好きな番組を聴けるから」
「投稿する機会が増えて面白くなった」
「好きなパーソナリティ繋がりの番組をハシゴするようになった」
「テレビ派でしたが見る番組が無かったときにたまたまラジオを聞いて、面白いと思ったのと、FMで聞けるということを知ったから」
「家事をしながらも情報が聴ける」「昭和歌謡が聴けるので」

ラジオ大阪はどんな人が聴いている?

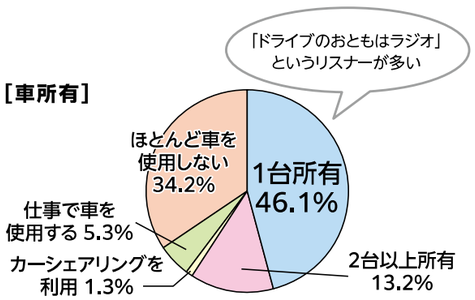
［性 別］



［職 業］



［車所有］



OBC MARKET AREA

エリア内府県別人口･世帯数

都道府県	人 口	男 性	女 性	世帯数
大 阪	8,839,532	4,261,993	4,577,539	4,391,310
兵 庫	5,302,682	2,540,780	2,761,902	2,471,873
京 都	1,720,814	824,528	896,286	837,268
奈 良	1,331,502	631,808	699,694	595,183
和歌山	699,115	331,145	367,970	327,212
滋 賀	567,554	280,429	287,126	238,467
徳 島	632,160	302,484	329,676	290,231
香 川	613,571	297,030	316,541	280,821
岡 山	1,117,386	540,166	577,220	507,359
広 島	56,250	27,324	28,926	26,597
合 計	20,880,566	10,037,686	10,842,880	9,966,321

2021年1月1日現在の「住民基本台帳」よりOBCマーケットエリアに含まれる部分を算出

エリア内自動車保有台数

都道府県名	乗用車	貨物車	保有台数
大 阪	2,804,820	667,700	3,815,770
兵 庫	2,236,988	471,825	2,934,964
京 都	685,026	161,140	915,079
奈 良	649,164	133,113	832,202
和歌山	405,330	119,994	563,735
滋 賀	326,370	70,918	421,963
徳 島	395,952	111,527	536,168
香 川	375,824	96,444	502,465
岡 山	690,956	175,284	919,474
広 島	29,458	6,478	38,458
合 計	8,599,888	2,014,423	11,480,279

（注）2021年一般社団法人自動車検査登録情報協会データよりOBCマーケットエリアに含まれる部分を算出

エリア内地域人口（職業別）

（単位：1,000人）

		大 阪	兵 庫	京 都	奈 良	和歌山	滋 賀	徳 島	香 川	岡 山	広 島
ベビー(0~1歳)※1		124	72	23	16	9	8	8	8	16	1
幼児(2~5歳)※1		271	162	51	37	19	19	18	19	36	2
小学生※2		422	267	82	65	32	32	29	31	58	3
中学生※2		222	137	44	36	18	16	15	16	30	2
ユースマーケット(15~24歳)※3		891	516	173	129	63	59	55	58	110	5
男女給料生活者※4		2949	1862	622	464	250	214	220	227	412	21
商工自営業※4		556	347	121	88	45	81	43	72	97	3
農林漁業※4		15	41	15	14	29	7	24	14	23	1
主 婦※4		1,61	831	248	236	115	79	92	89	172	8
シルバー世代(65歳以上)※3	男	1029	652	216	181	97	66	91	83	144	7
	女	1356	862	287	235	132	82	120	108	191	9
	合計	2386	1513	503	416	229	148	211	191	335	16
運転免許者数※5		5108	3304	1064	869	485	386	441	423	760	37

（注）OBCマーケットエリアに含まれる部分を各データから算出。 ※1 人口動態調査(2020年) ※2 総務省統計局(2021年) ※3 住民基本台帳年齢階級別人口(2021年) ※4 民力2015 ※5 警視庁サイト運転免許統計(2020年)

エリア内地域人口（年齢別）

（単位：1,000人）

		大 阪	兵 庫	京 都	奈 良	和歌山	滋 賀	徳 島	香 川	岡 山	広 島
10歳~19歳	男	398	249	79	62	31	29	27	29	53	3
	女	380	237	75	60	29	28	26	27	50	3
	合計	778	486	153	122	60	57	53	56	103	5
20歳~29歳	男	490	261	90	61	31	31	27	29	57	3
	女	490	257	88	61	29	27	26	27	54	3
	合計	979	518	178	122	61	58	53	56	112	6
30歳~39歳	男	507	285	92	65	34	34	33	33	61	3
	女	508	286	93	67	34	32	32	32	60	3
	合計	1014	571	184	132	69	66	65	64	121	6
40歳~49歳	男	657	379	124	89	46	43	42	44	79	4
	女	665	390	126	94	46	41	42	43	77	4
	合計	1322	769	250	183	92	84	84	87	155	8
50歳~59歳	男	606	352	111	86	44	36	38	37	67	4
	女	613	367	115	93	48	36	40	38	68	4
	合計	1220	719	227	178	93	73	79	74	135	7
60歳~69歳	男	465	307	95	81	45	33	44	38	67	3
	女	494	333	104	90	49	34	47	41	70	4
	合計	959	640	199	171	94	67	91	79	137	7
10歳~69歳	男	2845	1667	539	403	210	188	193	193	352	18
	女	2866	1695	546	420	212	181	192	188	346	17
	合計	5711	3362	1085	822	422	369	385	381	698	35
20歳~34歳	男	735	395	134	91	48	47	42	45	86	4
	女	735	390	131	92	45	42	40	41	82	4
	合計	1470	786	265	184	93	89	83	86	169	8
35歳~49歳	男	918	529	172	124	64	60	60	61	111	6
	女	928	543	175	130	64	58	60	60	108	6
	合計	1846	1072	347	254	128	119	119	121	219	11
50歳~69歳	男	1071	659	206	167	90	69	82	75	134	7
	女	1107	700	219	183	97	70	87	78	138	7
	合計	2179	1359	425	350	187	139	169	153	272	14
10歳~74歳	男	3419	2020	654	495	259	225	238	235	425	22
	女	3493	2084	674	525	268	219	241	234	425	21
	合計	6912	4104	1328	1019	527	444	480	468	850	43

（注）2021年1月1日現在の「住民基本台帳」よりOBCマーケットエリアに含まれる部分を算出

◆ラジオ大阪の歴史

1958年	（昭和33年）	大阪放送株式会社設立。大阪市北区梅田から、周波数1380kc、出力3kwで放送開始。
1959年	（昭和34年）	深夜放送「アナウンサーコーナー」をスタート、日本の夜を開いた。出力20kWに増力。
1961年	（昭和36年）	放送局初のPRソング「OBCソング」誕生。　詞：野坂昭如・曲：いずみたく ハワイKZOO局と番組ネット（昭和41年KZOO局と業務提携）。
1962年	（昭和37年）	名物回答者、融紅鸞女史の「悩みの相談室」に大阪府知事より感謝状。
1964年	（昭和39年）	大阪初のサテライトスタジオ、大阪駅前に開設。
1966年	（昭和41年）	上方漫才大賞制定。第1回大賞は、かしまし娘。大阪地区で初のオールナイト放送開始。
1967年	（昭和42年）	ラジオで初の土曜半ドン編成。
1968年	（昭和43年）	無線付きタクシー会社全面協力の情報番組「ニュースパトロール」スタート。
1970年	（昭和45年）	大阪で日本万国博覧会。開会式を全国ネット中継。
1971年	（昭和46年）	出力50キロワットに増力。周波数1310kcに変更。
1972年	（昭和47年）	「カットジャパン1310」に民放連ラジオ番組娯楽部門最優秀賞。
1976年	（昭和51年）	24時間キャンペーンのラジオ・チャリティ・ミュージックソン開始。
1978年	（昭和53年）	中波の放送周波数一斉変更。OBCは1310kHzから1314kHzに変更。
1980年	（昭和55年）	深夜放送「ぬかるみの世界」の新世界ツアーで、ヤングが通天閣を包囲。
1982年	（昭和57年）	「大阪国際女子マラソン」ラジオ独占中継。
1985年	（昭和60年）	「上方漫才大賞」と「上方漫才の道」に民放連の放送活動部門金賞。
1986年	（昭和61年）	「OBCブンブンリクエスト」スタート。中高生層に圧倒的支持。
1987年	（昭和62年）	「淀川わんどクリーン作戦」「サツキマスの稚魚放流」実施等、淀川環境キャンペーン開始。
1989年	（平成元年）	淀川環境キャンペーン「LOVE遊一淀川」が大阪の小学校教科書にも登場。
1991年	（平成3年）	「上方漫才の道」担当者に、第1回関西ディレクター大賞特別賞。
1993年	（平成5年）	開局35周年。本社を今の大阪市港区弁天町に移転。ステレオ放送を開始。
1994年	（平成6年）	吉本興業との共同制作による超大型ワイド番組「ラジオよしもと。サブロー・リンゴのむっちゃ元気！」放送開始。
1995年	（平成7年）	1月17日発生の阪神大震災では関西支社（神戸・元町）と本社をINSネット回線で結び、取材中継基地として 支社に特設スタジオを設置。震災報道に大いに役立たせた。
1997年	（平成9年）	4月1日京都中継局開始
1998年	（平成10年）	開局40周年。10時間の特別番組「21世紀どうなる大阪」放送。 河川環境キャンペーン「LOVE 遊一淀川」が民放コンクール金賞に。
2000年	（平成12年）	全国の民放ラジオ統一キャンペーン「あなたに伝えたい私の好きな音風景」OBCへの応募作品が最優秀賞。
2001年	（平成13年）	東京支社移転。名物番組「鶴瓶・新野のぬかるみの世界」がインターネット放送で復活。 日本民間放送連盟賞「プロ野球オーナー伝駒治朗が夢見たベースボール」が教養番組部門、 「河内音頭あれこれせ ドッコイセ」がエンターテインメント部門で優秀賞を受賞。
2002年	（平成14年）	映画制作に資本参加 Vステ・ザ・ムービー「EAT&RUN」。
2003年	（平成15年）	開局45周年記念「あなたが選んだ大阪の歌」発売。
2004年	（平成16年）	難病の青年とその母親の日々を描く「生きる証を十七文字に」が放送文化基金ラジオ番組部門賞を受賞。
2005年	（平成17年）	資本の移動に伴い、フジサンケイグループの一員に。産經新聞グループとの連携強化。 ラジオ関西・和歌山放送と「大災害等緊急時の相互援助協定」締結。 日本民間放送連盟賞「戦後60年特別番組 足がはえてこなかった」が報道部門最優秀賞、 「日本初の私鉄電車と松本重太郎」が教養部門、「NEWSワンダーランド」が生ワイド部門で優秀賞を受賞。 「戦後60年特別番組 足がはえてこなかった」が平成17年「文化庁芸術祭」優秀賞を受賞。 アンチエイジングステーション宣言を行う。
2006年	（平成18年）	日本民間放送連盟賞「帝国キネマ～幻になった東洋のハリウッド」が教養部門で優秀賞を受賞。
2007年	（平成19年）	夕刊フジとの共著「宝塚トンネルってなんで渋滞するねん？」を出版。
2008年	（平成20年）	開局50周年。5時間特別番組を5日間連続で放送。 浪曲とドキュメンタリーを組み合わせた異色作品「浪曲・吉岡先生と大阪防災元年」が第34回放送文化基金ラジオ番組部門賞を受賞。
2010年	（平成22年）	IPサイマルラジオ「radiko.jp」配信スタート。 AMラジオ災害問題協議会活動「関西発・命のラジオ 防災への備え『わかってはいるけれど…』」がギャラクシー賞報道活動部門で推奨を受賞
2011年	（平成23年）	ラジオ大阪の新キャラクターとして女子アナ3人で「弁天R.シスターズ」を結成。 「どうしてジャンケンできないの？～人生を変えた大阪空襲」が、平成23年度日本民間放送連盟賞優秀賞を受賞。 さらに、日本放送文化大賞の近畿地区ラジオ番組部門の代表作品に選出。
2012年	（平成24年）	7月より開局55周年期間スタート（～2013年9月）。キャッチフレーズは「GO!GO! ラジオ大阪～もっと新発見！～」 7月1日に弁R.シスターズがキングレコードより「魔法のカガミ」（カップリング「恋のシャンソン人形」）でCDデビュー。 日本民間放送連盟賞近畿地区審査会で「OBCベジスタワンダーランド」がエンターテイメント番組部門で優秀賞受賞。 ワイド番組「高岡美樹のべっぴんラジオ」が、生ワイド番組部門で優秀賞受賞。
2013年	（平成25年）	4月から新キャッチフレーズ「ハッピーエイジングステーションOBC」に。 7月に開局55周年記念「ラジオの力新発見！～おとなの文化祭～」を実施。5.5時間の特別番組やイベントを同時展開する。
2014年	（平成26年）	4月よりラジコプレミアムスタート（有料サービス）。全国でラジオ大阪の聴取が可能に。 7月1日、東京支社が銀座から青山に移転。
2015年	（平成27年）	阪神淡路大震災から20年となる1／17に特別番組「あの日を忘れない～阪神淡路大震災から20年」を生放送。 7月に関連会社の再編を実施。新会社（株）オービーシープロジェクトを設立。 7月27日に近畿総合通信局からFM補完中継局の予備免許を交付される。 ラジオ・チャリティ・ミュージックソンの40年にわたる活動が評価され、第41回放送文化基金賞を受賞。
2016年	（平成28年）	2月29日、FM補完中継局　本免許交付。 3月19日、正午　FM91.9MHz本放送開始。 10月11日、ラジコの聞き逃し聴取サービス　タイムフリー機能実証実験とシェアラジオがスタート。
2017年	（平成29年）	4月3日、開局60周年記念期間スタート。グルメテーマで番組イベントなど実施 日本民間放送連盟賞近畿地区ラジオ教養部門で「日本三大秘境の民謡と落人伝説」が優秀賞受賞。
2018年	（平成30年）	開局60周年。7月から新キャッチフレーズ「ハッピー♥カラフル♪OBC」に。
2019年	（令和元年）	日本民間放送連盟賞近畿地区エンターテインメント番組部門で「Whisky a Go Go」が優秀賞受賞。
2020年	（令和2年）	日本民間放送連盟賞「山下純一とアルミカンの今夜もバリアフリーFUNK」がラジオ準グランプリを受賞。
2021年	（令和3年）	「防災ラジオステーション宣言」を行う。国際連合の「SDGメディア・コンパクト」へ加盟。 資本の移動に伴い、(株)Donutsが筆頭株主になる
2022年	（令和4年）	動画配信アプリ「ミクチャ」と同時生放送をする初めてのワイド番組「サクラバシ919」がスタート。 新キャッチフレーズ「しゃべくる×サブカル＝カラフル！ラジオ大阪」に。 日本民間放送連盟賞ラジオ教養部門で「浪曲かたりがたり～節と啖呵に魅せられて～」が優秀賞受賞。

1966年　第1回上方漫才大賞受賞のかしまし娘

2003年　開局45周年記念CD

2016年3月19日
ワイドFM開局のAM3局合同イベント

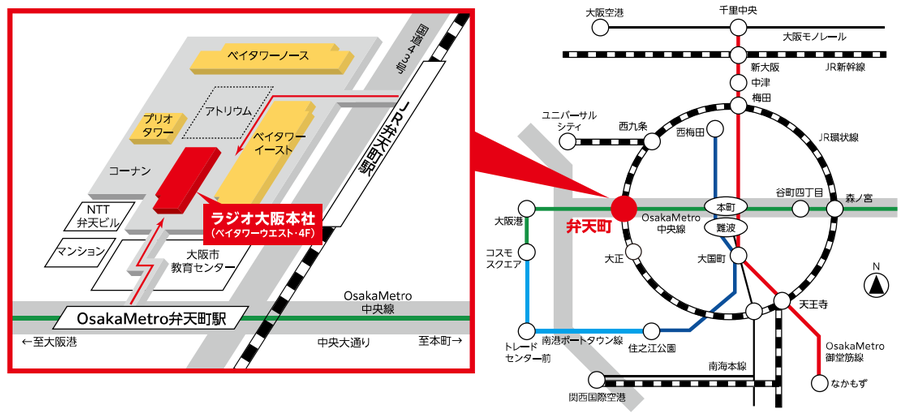
◆会社概要　（令和5年1月現在）

会社名	大阪放送株式会社
呼出符号	JOUF
呼出名称	らじおおおさか
周波数（出力）	AM1314kHz（50kw）、FM91.9MHz（7kw）
放送開始	昭和33年7月1日
資本金	1億円
従業員	25名
所在地：本社	大阪市港区弁天1丁目2−4
東京支社	東京都渋谷区代々木2丁目2-1 小田急サザンタワー8階 株式会社Donuts内
送信所	AM：堺市東区石原町 FM：生駒山山頂
主な株主	株式会社Donuts 株式会社産業経済新聞社 株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社関西みらい銀行

役　員	代表取締役社長　吉田禎宏 常務取締役　吉野達也 取締役　上野慶子 取締役　西村啓成 取締役　假屋　勝 取締役　鈴木裕一 監査役　吉金正人
主な取引銀行	りそな銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行 関西みらい銀行 大阪シティ信用金庫　他
関連会社	㈱オービーシープロジェクト 設立日／平成27年6月10日 事業内容／番組企画・制作・広告 代理店業務・アナウンサー声優の養成 ㈱オービーシーミュージックセンター 設立日／昭和44年4月1日 事業内容／音楽出版物の管理及び広告代理業

ラジオ大阪は、令和3年に株式会社Donutsが筆頭株主となり、番組の動画・ライブ配信等の業務提携を進めています。
フジサンケイグループの一員でもあります。

◆本社所在地図



大阪放送株式会社

大阪本社　〒552−8501　大阪市港区弁天1丁目2-4
<営　業　部>TEL06-6577-1331、FAX06-6577-1330

東京支社　〒151-0053　東京都渋谷区代々木2丁目2-1
小田急サザンタワー8階 株式会社Donuts内
TEL050-5530-0973、FAX050-5369-3102

ラジオ大阪 OBC
FM91.9 AM1314

http://www.obc1314.co.jp
発行：2023.03 ラジオ大阪編成部